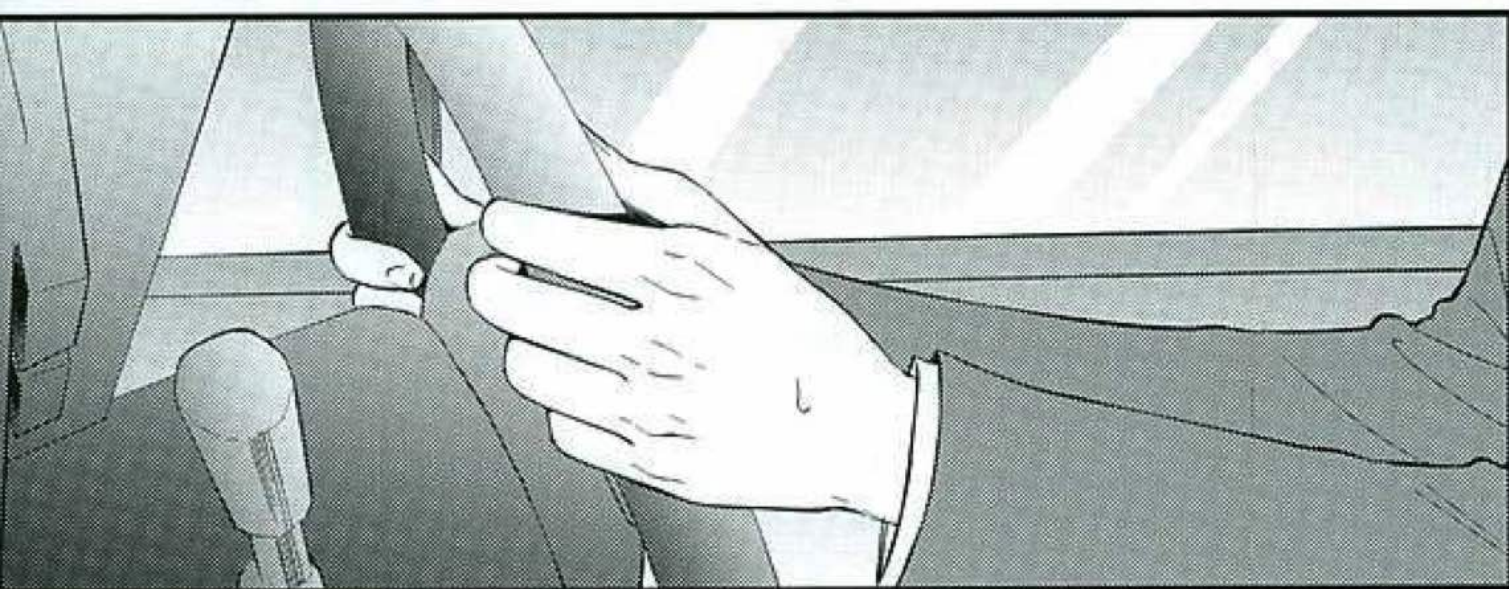




都合のいい男

成人向



酔い潰れた松野を  
今から  
自分の家に連れて行

そう思うと  
ハンドルを握る手が  
酷く汗ばんだ



あの頃  
俺は働き詰めで  
心身ともに  
疲れ切っていた



…おいしい  
…おいしい…



満員電車で揺られ  
朝から晩まで仕事に  
明け暮れる日々

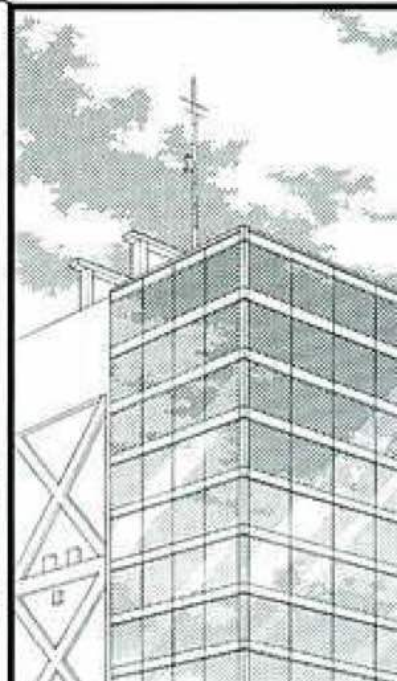


…欲求不満だ

フワッ…



男の多い職場で  
女は皆だいたい年上の人  
ばかりだったから





ふわ…



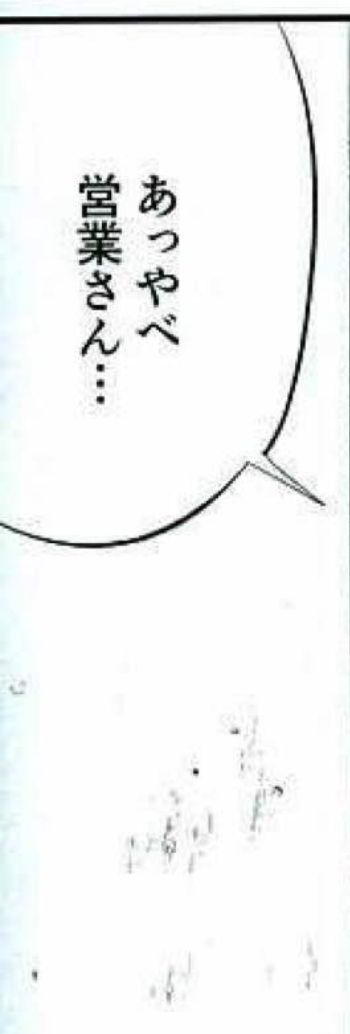
ん？  
誰か来た…



カチヤ…



まるで



あっやべ  
営業さん…



今朝  
嗅いだような  
女みたいな  
いい匂いがした

きん



彼は派遣の  
バイトで  
やっできた  
事務だった  
気さくに話して  
くる男  
男なのに  
なせいい匂いが  
するの  
それで興味が  
沸いたんだと  
思う  
更に俺が  
欲求不満だった  
だから  
だから  
だから

その日の  
夜は  
とんでもない  
夢を見た



あつしくん

あつしくん

いいこと  
って…

女の子もほほ居ない  
とこで働いてるから  
ムラムラして仕方  
ないんだ…

ボクと  
いいこと  
しようよ



だからさ…  
男同士で  
いいから…

あつしくんも  
ボクみたいに  
可愛い男なら  
構わないでしょ？

めっ♡

よいしょ

ちよ…  
松野…くん…



ちよ...

ま...  
松野...

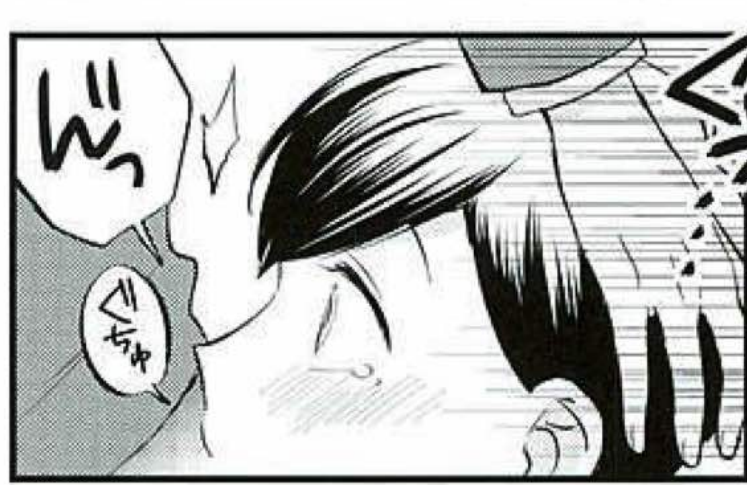


うわあああ!?



ん...♡

ん...



ん...

ん...



ん...

ん...

ん...

ん...



松野...

ん...

ん...

ん...

ん...



んふ...

まだ...  
出しちゃだめ  
だよ...?

ちゅほんっ

せし

これから  
なんだから

んふっ

んふっ

んふ

んふっ



ま...  
松野...

んふ

あっくん...  
あっくん...

んふ

んふ

んふ





俺は一体  
どうして  
しまったんだ…





俺がいつも休憩場所に  
使っていた非常階段に  
松野はサボりに来る  
ようになった



営業さん

あ



ただしそれは  
男ばかりのこの  
空間での話では  
あるけれど

松野は  
可愛かった



“あつし”でいいよ



この時間が俺は  
好きだったのだけ



仕事での唯一の…  
癒しの時間だった

え…

辞めた？

ああ  
松野くんだろ？

もともと短期  
だったから  
あつという間  
だよな



毎日  
楽しい時間を  
一緒に過ごして

でも

俺に一言も無しに  
行ってしまったのは  
松野にとつて  
俺の存在はそこの  
人間と同じだったと  
いうことだ

これは  
俺の一方的な…

なんだか  
無性に  
虚しかった

今まで  
こんな会社に  
耐えていた  
気持ちが  
ぼきりと折れ

俺も  
逃げるように  
会社を辞めた

スタバコト

だが――

あれっ

あつしくんじゃん！



久しぶり！  
すっごい  
偶然だね！

たまたま  
入った喫茶店で

偶然  
会うなんて



元気だった

あ…  
ああ…

俺は



あのさ

ラインID  
教えて?

逃したくない  
思いで  
唐突に連絡先を  
聞いた

そうして俺は  
松野に会う口実を  
作るために

この喫茶店の  
近くの会社に  
就職した

自分でも  
信じられない  
くらいの執念だ  
自分がちゃんと  
怖い

あつしくんが  
いつも来て  
色々買って  
くれるから

あつしくん

ボクが来てから  
売上げ上がった  
って店長に褒め  
られちゃった

あつしくん  
ホスト

これボクが  
ホストなら  
今頃すっごい  
儲けてるよね!

ホストに  
なろうかな

でもあつしくん  
居ないと売り上  
がないからホスト  
意味ないか

俺がいないと...

嬉しかった

あつしくん  
少しでも  
松野の特別に  
近づけたよう  
気がして



もっと距離を縮めたくて  
バイト帰りの松野に  
いつも飯を奢った

すると彼は  
俺と帰りが一緒になる様に  
バイトのシフトを  
組むようになった  
(俺の仕事が終わるまで  
待つのが面倒だったようだ)

夕飯を奢ってくれる  
都合のいい友達  
それでよかった



ボク バイト辞めたんだ

頻繁に会えなくは  
なるけれど  
今は連絡先を  
知ってるんだから  
いつでも会える

ボク バイト辞めたんだ

今度飲みに行かない?

きつと松野にとって俺は  
もう以前みたいなの  
どうでもいい人間では  
なくなったということだから

バイトを辞め  
たという連絡  
それだけで  
嬉しかった

でさ〜  
ほんっつと最悪最低の  
クズ兄貴たちだよねえ

ボクが苦勞して  
獲得した合コンの権利を  
全部パーにすんの!!

大変だな  
松野も

…すごい  
6つ子だな…

…にしても…

合コンか…

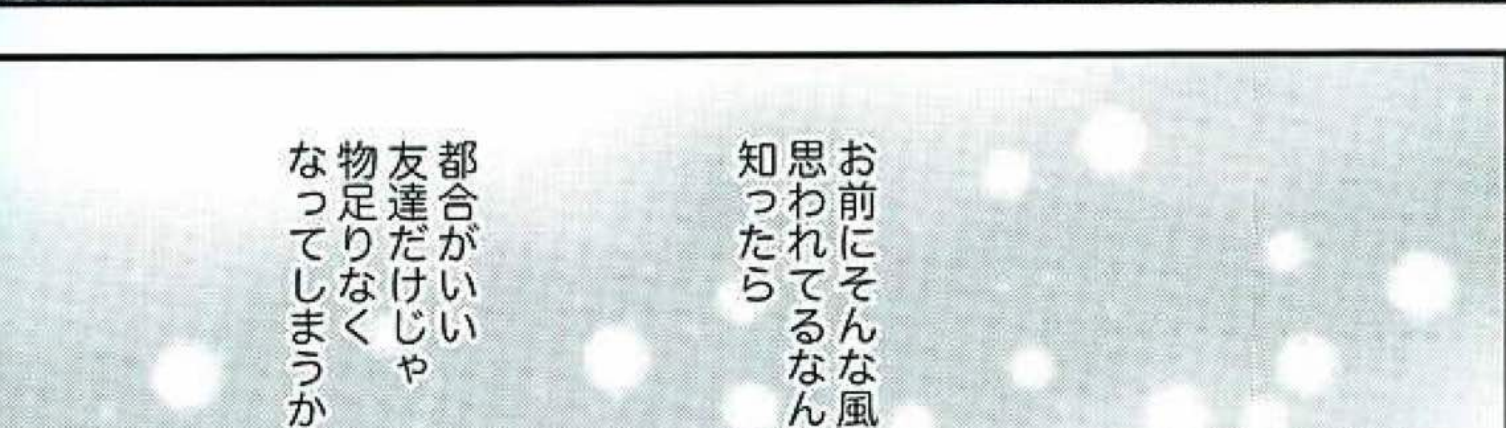
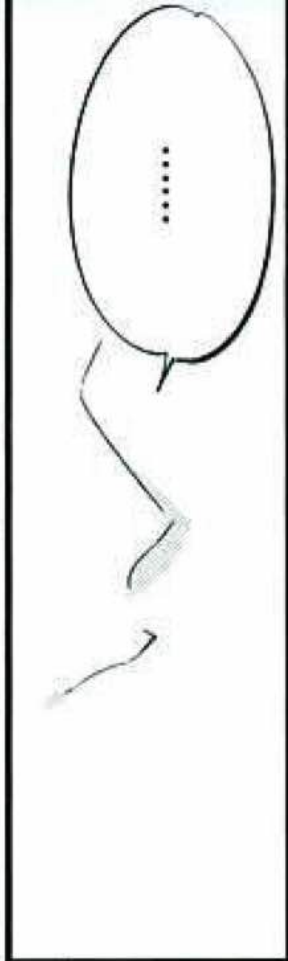
松野に変な虫が  
くっつかないか  
心配だ…

…今度合コンする時  
俺も誘ってくれよ

え〜っ  
あつしくん居たら  
すごいライバルじゃん

あつしくん  
お金持ってるし  
性格いいし  
顔だって悪くないし…

え





…あつしくん  
こないだお持ち帰りした  
女の子どーだったの

別にお持ち帰りは  
してないよ

今日は○半の  
すき焼き予約  
してるけど？

許す♡

あゝっ…もう  
あつしくんなんか  
連れてったら  
ああなることは  
わかってたのに…っ

うそだ！この車に  
乗せたんでしょ…



ふあ~~~~~

あつし  
許すまじーっ



さっき  
許したんじゃ  
なかったの？

許さないっ



送ってくから  
乗って

カクテル...  
いやって...



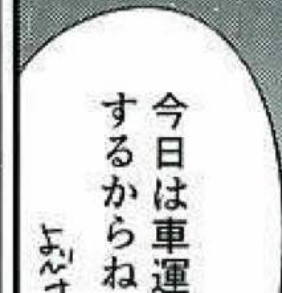
許さないよお~

何であつしは  
お酒飲まないん  
だあ~~~~~



帰りたく  
ない...

あつしくんの  
家泊めて？



今日は車運  
するからね

ふん

あんな兄さんたちの  
居る家なんか  
帰りたくなーいっ

おやー

おやー



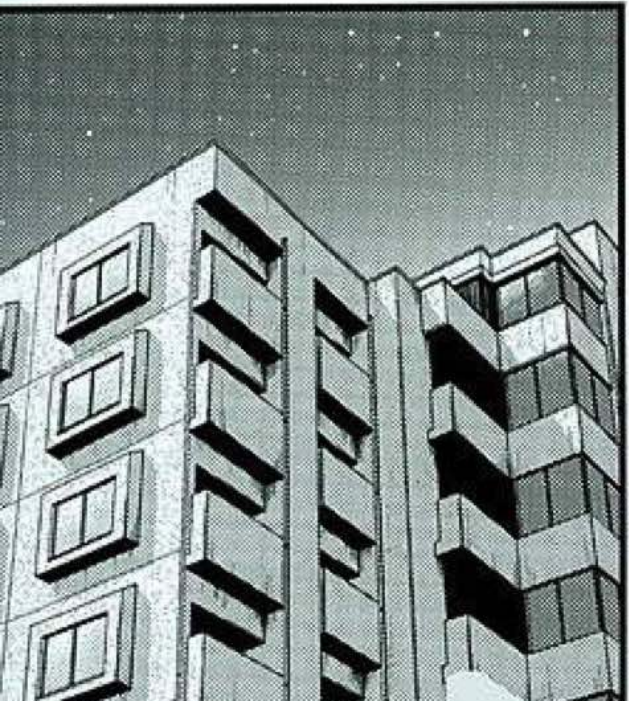
……

おやー

いいよ…  
俺の家…



いーえーいー



松野が…俺の家に…  
これは夢か何かだろうか



これは…  
据え膳…



ん…



す

す

す



唇…だけ  
なら…

寝ている  
今なら…





……



やっぱり早く  
シャワーを浴びて  
寝よう……

あつしくん……

クッ  
クッ





嘘だあ



してないよ……っ



う……  
嘘なんか  
じゃ……



そうだ……  
このままだと俺は  
今の「都合のいい友達」  
というポジションを  
失ってしまう



……もしかして……  
あつくくんで  
ボクのこと  
好きなの？





まさかそんな…

松野に伝える  
つもりなんか  
なくて

……ち…  
違うよ……



松野に知られたら…

松野に拒否されたら…



ええー  
ほんとにいい？  
今絶対凶星だった！

ちよ…  
やめろよ松野  
かつかうの…

すいっ  
すいっ

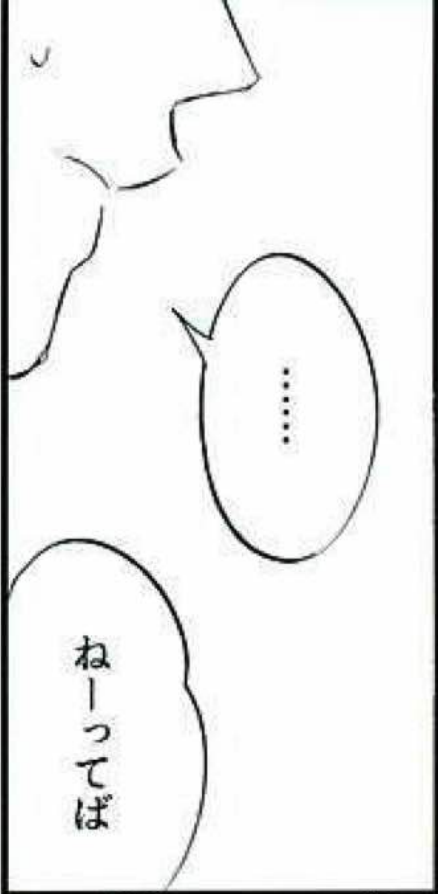


あつしくん  
ボクのどこが  
好きなの？

引かれ…たら…



…かわいいとこ



…

ねーってば



松野は…  
酔ってるんだ



ほんと？  
やっぱボクって  
かわいいよね？

きゅんきゅん



明日になったら  
俺はきつと

“都合のいい友達”に戻るんだ



松野…

だからきつと  
明日には今日のことは  
覚えてなくて



ま…  
松野…

「あつ、あつ」



あつ…

あつ…  
だつ…め…  
だよ…  
あつしくん…

「あつ、あつ」



入れたら…っ

絶対ダメだよ…っ

…松野…っ



あつ…



入れたら  
だめだよ…？

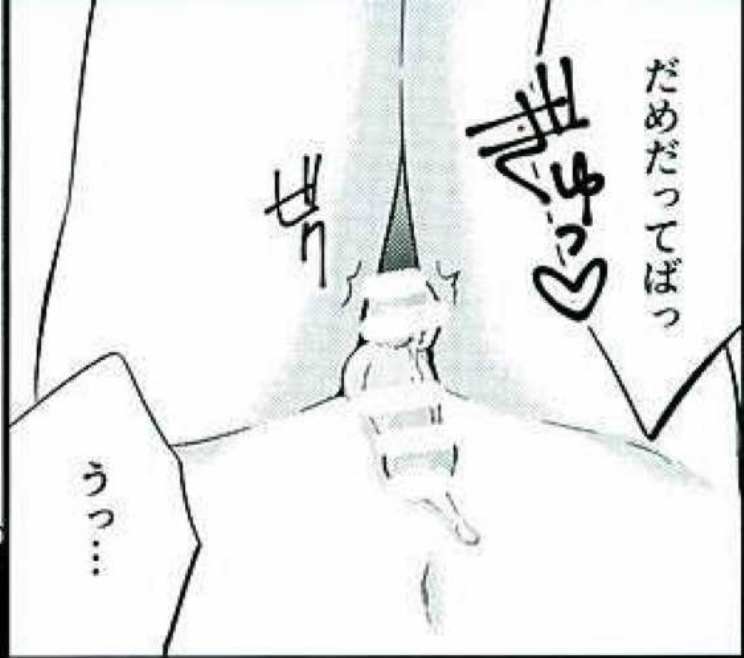
あつ、

あつ、

あつ、

あつ、

あつ、







ま...  
松野



おはよう

あ...起きた?  
あつしくん



ん...

おはよう



あつしくん

な、何?



...おはよう



また

ご飯行こうね

昨日のことを忘れ  
いたのなら

朝起きて自分が  
裸だったことに  
冷静で居るはずない

あつしくん

ずるくて  
ごめんね

……

ずるいのは松野  
だけじゃない

女はな  
何の話？

都合のいい男だと  
思わせておいて  
油断させて

君の全てを  
手に入れようと  
している

俺もなんだから



都合のいい男

成人向